

授業改善プラン

教科（ 技術 ）

学力調査・定期考査・生徒の授業アンケート・授業の様子から分析して作成する。改善策として ICT の活用を導入するものは**太字**

	観 点	1 学期	2 学期		3 学期	小中一貫の 取組
		今年度の取組 昨年度の課題から	分析	具体的な改善策	改善プランの評価 来年度に向けて	
1 年 生	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・知識の定着のため、毎回授業はじめに確認テストを実施する。 ・工具の使い方のテストを実施する。 ・学習者用端末を活用した CAD での製図を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習者用端末を利用して実施しており、満点を取れるまで時間内で複数回実施できるようにしている。前回の授業の内容から出題しているが、満点を取る生徒は半数いない。 ・工具の使い方は身に付いているが、技能には個人差が大きくなる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・確認テストの問題を、前回の授業の基礎的なものにし、生徒の実態に合わせ知識の定着を図る。 ・実習中は机間指導を行い、作業が苦手な生徒に指導を行う。 		
	思考力・判断力 表現力	<ul style="list-style-type: none"> ・習得した知識・技能を、実生活のなかでどのように活用するか考え、レポートにまとめる。 ・木材加工の実習で、デザインに使いやすさや強度のための工夫について考え、まとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対して正対して取り組む雰囲気と個人のやる気があるが、文章で表現することが苦手な生徒が多く感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業中のワークシートやレポートなど、まとめて表現する機会を設け、評価をする。 		
	主体的に学習に 取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ・実習の進行について個人でまとめ、計画的に実習を進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・作業の進行速度は個人差が大きくなりやすい。 ・自分の作業の進行速度を把握し、計画的に進められる生徒は多くない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを用いて実習の反省や進行速度についてまとめさせ、適宜コメントなどで指導する。 		
2 年 生	知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・知識の定着のため、毎回授業はじめに確認テストを実施する。 ・エネルギーに関する製作実習において、回路など電気エネルギーに関する実験を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学習者用端末を利用して実施しており、満点を取れるまで時間内で複数回実施できるようにしている。前回の授業の内容から出題しているが、満点を取る生徒は半数いない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・確認テストの問題を、前回の授業の基礎的なものにし、生徒の実態に合わせ知識の定着を図る。 		

授業改善プラン

教科（ 技術 ）

3 年 生	思考力・判断力 表現力	・習得した知識・技能を、実生活のなかでどのように活用するか考え、レポートにまとめる。	・課題に対して正対して取り組むが、文章で表現することが苦手な生徒が多い。	・授業中のワークシートやレポートなど、まとめて表現する機会を設け、評価をする。		
	主体的に学習に取り組む態度	・実習の進行について個人でまとめ、計画的に実習を進める。	・作業の進行速度は個人差が大きくなりやすい。 ・自分の作業の進行速度を把握し、計画的に進められる生徒は多くない。	・ワークシートを用いて実習の反省や進行速度についてまとめるが、適宜コメントなどで指導する。		
	知識・技能	・知識の定着のため、毎回授業はじめに確認テストを実施する。	・学習者用端末を利用して実施しており、満点を取れるまで時間内で複数回実施できるようにしている。前回の授業の内容から出題しているが、満点を取る生徒は半数いない。 ・プログラミングなど、情報に関する知識は個人差が大きい。	・確認テストの問題を、前回の授業の基礎的なものにし、生徒の実態に合わせ知識の定着を図る。		
	思考力・判断力 表現力	・プログラミング教材に取り組み、確認と解説を行う。 ・情報セキュリティに関する題材を自分で選び、レポートを作成する。	・着実に取り組んではいるが、知識や自らの考えが定着しているかは把握するのが難しい。 ・課題に対して正対して取り組んでいるが、文章で表現することが苦手な生徒が多い。	・ワークシートやレポートなど、まとめて表現する機会を設け、評価をする。		
	主体的に学習に取り組む態度	・実習の進行について個人でまとめ、計画的に実習を進める。	・作業の進行速度は個人差が大きくなりやすい。	・ワークシートを用いて実習の反省や進行速度についてまとめるが、適宜コメントなどで指導する。		

カリキュラムマネジメントの視点から
理科の授業内容を合わせながら材料と加工に関する技術やエネルギー変換に関する技術を展開していく。